矢掛町立川面小学校　発刊　2018年(平成30年)2月9日　第188号

蛍樟新聞
けいしょう

学校教育目標
心豊かで，よく学びよく遊ぶ児童を育成する
やさしい子　考える子　強い子

寒さに負けず、春に向かおう！

校長　勝間光洋

立春を過ぎ、暦の上では春となりましたが、最強寒波が何度も押し寄せ、例年にない寒い毎日が続いています。皆様、体調を崩されてはないでしょうか。一時期、インフルエンザＢ型が流行し、学級閉鎖をした学年もありましたが、今は落ち着いています。しかし、油断は禁物です。手洗い・うがい（緑茶がいいそうです）を忘れず、予防に努めていきましょう。

今日から韓国の平昌では冬季オリンピックが開かれます。世界の一流アスリートが金メダルを目指して挑んでいく姿は美しいものです。夢や希望をもつ私たちには、すばらしい刺激になると思います。ともに、感動の毎日で心をあたたかくしたいですね。

さて、朝の冷え込みが厳しいですが、子どもたちは、元気に登校しています。笑顔で、大きな声であいさつをする子どもたちが多くなり、うれしく思います。それに応えて大きな声を出すと、こちらもあたたかく、笑顔になれるようです。声を出すことのエネルギー、言葉のもつパワーを改めて感じています。おうちでも、すてきなあいさつを交わし、たっぷりとエネルギーやパワーを蓄えてください。

また、学校では、定期的に業間にリズムなわとびやマラソンを行い、冬場の体力づくりをしています。私は、少し跳ぶだけで息が切れていますが、子どもたちは元気で、よく跳び、よく走っています。丈夫な体をつくることも風邪予防のためには大事です。寒さに負けず、しっかりと体力づくりをしていきたいものです。この寒さが過ぎれば、三寒四温で次第に春に近づいていきます。今年度のゴールをめざして、教職員一同元気を出していきますので、ご支援ご協力をよろしくお願いします。

雪の中の「出初め式」鼓笛演奏

１月２８日は、消防団出初め式で、いつもなら鼓笛パレードで川面分団の先導をするところでしたが、降り始めた雪がやまず、役場前で演奏だけで送り出しをしました。それに向けて練習をしていたので残念でしたが、わずかであっても心を込めて演奏をしました。

来年度もしっかりと活躍してほしいですね。

合同授業で交流（３・５・６年生）

今年度から３年生から合同授業が各学期に１回行われています。これは、多くの人数での授業で、たくさんの考えにふれたり、自分の意見を多くの人の前で発表したりして、少人数の学習では得られない体験を積み重ねようとするものです。

今回は、４年生がインフルエンザの関係で中止になりましたが、３年生が矢掛小学校と、５・６年生が小田小学校と授業を通して交流を深めました。

授業では、グループで話し合ったり、一緒に活動したりすることを多くすることで、多くの人と考えの交流ができるようになりました。どの学年もはじめは恥ずかしそうにしていたのですが、次第に笑顔も会話も増え、いい雰囲気で終わることができました。

いつも給食をありがとうございます　～給食週間の取組～

１月２２日から１週間を給食週間として、毎日の給食を感謝する取組を行いました。給食センターも、この給食週間に因んで、献立を工夫してくださっていました。また、この週間中には給食センターの先生や調理員さんと一緒に食べたり、給食に関する読み聞かせをしていただいたりしました。毎日の給食は多くの人にお世話になっていることを改めて感じる１週間となりました。これからも感謝をしていただきたいと思います。

むかしの遊びを教えてもらったよ（１年生）

１年生は生活科で「むかし遊び体験」をしました。１月１６日に高砂会の方に来ていただき、一緒に遊びながら教えていただきました。けん玉・こままわし・あやとり・折り紙・竹馬・竹とんぼ・リーム回しなど、手取り足取りでやさしく教えていただき、１年生はとてもうれしかったようです。その体験をもとに、練習を繰り返し、できるようになった技などを２月７日に披露しました。とても上手にできるようになっていてびっくりです。

高砂会の方には大変お世話になり、ありがとうございました。

三王サロンに訪問したよ（３年生）

２月６日に３年生が三王サロンを訪問し、地域の方々と交流をしました。社会科で昔の暮らしを学習していることもあり、地域の方にお話を聞くことで、いい学びとなったようです。３年生は、歌を披露したり、肩たたきをしたりしたので、皆さんは喜んでおられました。すてきなふれあいの会になりました。